

【議事録】

■案件名：江坂公園及び吹田市立江坂図書館魅力向上事業

■会議名：第12回パークミーティング江坂

■日時：2025年12月13日(土) 13:00 ~ 14:30

■場所：江坂図書館多目的室2

■参加者(敬称略)

(学識経験者)大阪公立大学 緑地環境科学専攻 松尾准教授

(江坂連合自治会)紙谷、泉井

(豊一地区連合自治会)杉村

(ボランティア はなみどサポーター)松野

(江坂図書館)谷川

(吹田市 公園みどり室)小原、白井、川本

(指定管理者)グリーンホスピタルサプライ江坂公園

白石、清水、田中、小西

■記録者：清水(指定管理者)

■資料：第12回パークミーティング江坂資料

1. パークマネジメントプラン運用について

【説明：グリーンホスピタルサプライ江坂公園 小西】

- ・樹木管理(樹名板の取り付け)
- ・公園案内板の再整備
- ・休息・散策エリア(クワイ池)の再整備
- ・ファミリーエリア(ちびっこ広場)の再整備
- ・パークセンター活用
- ・夜の利活用

各項目の進捗と今後のスケジュールについての報告

【ご意見／ご質問】

<松尾先生>

ちびっこ広場のスプリング遊具はラッコが人気なのは、意外だった。アンケートの対象になった11種類はどのように選定したのか。

<指定管理者>

遊具メーカーに在庫があるものとなる。

<松尾先生>

現行遊具は木製のように見えるが、素材は変わらぬか。

<指定管理者>

素材は変わってしまう。リニューアル以前にあった大型遊具に関しても木製であったが、木製は劣化の速さとメンテナンスの問題があり、FRP素材のものを選定している。予定では来年1月に設置完了。

<吹田市>

参考までに樹名板の値段の価格を教えてほしい。

<指定管理者>

だいたい1枚2,000~2,500円程度。大きさによって値段はまちまち。

<吹田市>

案内板や樹名板に QR コードをつけるのはいいアイデア。過去に公園の不具合の連絡窓口の提案を行ったが、採用されなかった経緯があるが、利用者にも気付いたことをすぐにお知らせできるような仕組みなどもあればいいなと思う。

プロジェクトマッピングは地域の子どもたちも巻き込んで、いい企画だと思うがどうしても当日イベントに参加できなかった子たちのために、公園 HP や youtube などで当日の様子を流すことはできるのか。

<指定管理者>

映像の質を問われることと協力会社の許可がおりれば、対応可能かと思う。

プロジェクトマッピングは今回初めての試みで、それなりにお金もかかったため江坂周辺企業に協賛金を募った。イベント当日は来園した子どもたちにもお菓子を配る予定。

<松尾先生>

子どもたちが描いたイラスト原本を江坂図書館などに展示できないか。

<指定管理者>

だいたい A3 サイズが 40 枚程度。図書館の窓に貼れるぐらいではあるが、掲示する目的で描いてもらっていないのと、個人情報が描かれていたりするのでそのあたりを確認した上で対応したい。

<図書館>

貼りだす場所が幼稚園児のエリア付近になるので、意図せず作品を破いてしまう危険も考えられる。

A 委員：プロジェクトマッピングは 1 日だけの開催なのか。もったいないので複数回できないのか。過去コロナ前まで、豊一小の児童が描いたイラストとペットボトルを使ったライトアップしていたことがあったり、江坂公園のポプラ並木のイルミネーションとかキャンドルナイトのような催しをやったりしていた。その当時も子どもたちは楽しみにたくさん見に来ていた。プロジェクトマッピングもせっかく作ったのであれば、複数回開催出れば。

B 委員：吹田祭りの時にもペットボトルのライトアップを開催した。

C 委員：アステラスという名称で開催していたイベントである。

(参考：[アステラス - 江坂大池小学校 校長日記 2017~2018](#))

<松尾先生>

プロジェクトマッピングも良いが、持続可能性という点ではペットボトルライトアップの企画も魅力がある。

<指定管理者>

プロジェクトマッピングは 1 回ごとに費用がかかるので、持続可能性を考えていきたい。桃山公園の枯れた竹を伐採して、「くわい栽培中」の看板の設置も予定している。

また、ファミリーエリア(主にちびっこ広場)の再整備について、皆さんから意見・アイデアが欲しい。

A 委員：今年一丁目自治会が子ども会の人員募集のイベントを開催したり、3 丁目南で防災訓練をやったり、またそれを見た別の自治会も開催したいと江坂公園を活用した催しが出来ればと思う。予算が限られるので防災訓練とかにはなるが、令和 8 年度はかまどを使った炊き出しなどができると動いている。

<松尾先生>

樹名板の設置が順調に進んでいるが、樹名板が付いたことのアピールやそれをきっかけとした自然を学べる機会に繋げることができればいいのでは。

<指定管理者>

活用事例を考えて、園児や児童の学びに活かせるように学校に提案に行くことはできるかと思う。今年度まずは60本、次年度以降も継続してインナーガーデンにも設置出来ればと考えている。

2. 2025年度イベント報告

【説明：グリーンホスピタルサプライ江坂公園 小西】

- ・「ぼよぼよ遊具」開催実績
- ・「江坂ブックフェスタ 2025秋」開催実績
- ・「Fun Step 感謝祭 2025」開催実績
- ・今後のイベントスケジュール

【ご意見／ご質問】

B 委員：主催者が指定管理ではない団体のイベントが開催された場合、公園収益に繋がっているのか。

<吹田市>

公園の使用料として、市に収益（一般財源）が入る形になる。利用申請先については、指定管理で、減免申請は市に提出する。減免審査については、シティプロモーション室や環境政策室からの後援の承諾があれば、減免することになる。

<指定管理者>

実際に、指定管理以外が主催になっているイベントはシティプロモーション室や環境政策室が後援となっているので、減免となり公園の使用料としては入っていないのが現状。

B 委員：一部のイベントは江坂公園以外でも開催されており、吹田市全体に影響がある。偏った企業の儲ける場所になって、公園は潤わないのは本末転倒になる。

<吹田市>

後援を承諾している部署も必ず審査し、イベントの收支を確認して市の事業と見なし、後援の承諾を行っている。

<松尾先生>

イベントをやりながら、それを公園に還元するためには減免申請について慎重な判断が必要になるかと思う。

A 委員：江坂公園の使用料は江坂公園にだけ使えるようにならないものが。

<指定管理者>

江坂公園として修繕費約1,500万円/年間で使わせてもらって、実際にクワイ池の修繕やインナーガーデンの修繕を行うことで、利用者・市民への還元はできていると認識している。まずは、江坂公園の認知度向上を図ろうとしており「江坂公園で何かできる」という風土づくりを行っているような状態である。

<吹田市>

市からの相談で、夏に開催したサマーフェスについて反対意見が出ており、自治連合会で地域住民へのヒアリングや市民アンケートなどどうにかして、集約できないかと考えている。

A 委員：アンケートは時には大げさになりすぎるときがある。また、何かやるときには賛成/反対意見が出るもの。15ある自治会の中でクレームなどがあれば書き留めてもらうことで次の協議会までには集約する動きはできる。

今のところ、サマーフェスの反対意見というのは聞いたことがないし、当該議員が直接来られたこともあるが、悪いところを指摘するだけではなく、これまで以上に整備されているところを見てほしい旨伝えている。また、直近だと整備されたクワイ池を見ながら喫煙スペースの外に出て電子タバコを吸っている方が気になる。

<指定管理者>

喫煙スペースが整備された直後は治まったが、一過性であり最近増加傾向である。喫煙スペースの小屋の裏で粗相する者もいるというクレームも受けているため、管轄の環境政策室に伝える。また、近隣の企業の研修があると増加する傾向がある。

A 委員：そもそも公園の中に喫煙スペースを設けるのは反対ではあったが、できたからには正しく使用されるように環境政策室も含めて検討してほしい。

B 委員：反対している人が一人でも、みんなが反対していると過剰に反応しているように思う。実際夏は外に出て遊ぶのは危険な気温であり、子どもたちだけで遊びに行かせるのは危機管理の面でもよくない。サマーフェスが開催されていることで、ある程度大人の目も入り、非常時があった場合でも救急対応が可能になるなどメリットがあるのではないか。

<松尾先生>

インナーガーデンでの活動の進捗などあれば。

D 委員：来週植え替え予定。葉ボタンの苗が入らなくなり、サクラソウやパンジーなどを植える予定。作業中は利用者から感謝の言葉をいただき、やりがいを感じる。植え替え時には3-4人で対応。直近でボランティア募集の看板を設置して、人員確保する予定。

<松尾先生>

地道な活動が継続することで公園の魅力向上にもつながる。

【次回開催】2026年3月27日(金)13:00~

以上